



東秩父村では  
空き家の活用が課題となっている。

現在、村の空き家の数は約150軒。  
空き家を放置すれば、倒壊や景観悪化、  
不法侵入などのトラブルにつながりかね  
ない。  
そのため、空き家バンクや補助金など、  
空き家対策のために様々な取組みを進め  
てきた。

そうした中、村の空き家を活用して素敵  
なお店をオープンした「八間屋」「薪火食  
堂アジャテ」「未来図」の方たち取材し  
たところ、地元の人たちとの出会いと繋  
がり、感謝の気持ちを語ってくれた。



## 01 八間屋 -Yamaya-

村でお店を開くことができ

「幸せでもあり、感謝の気持ちでいっぱい」です

同級生3人でリサイクル  
ショップ&イタリアン食堂  
をオープン！奥沢地区でリ  
サイクルショップ&イタリ  
アン食堂を切り盛りしてい  
るオーナーの山口さん、シェ  
フの池田さん、お店で使う  
野菜を作っている大塚さん。  
奥沢地区の人々とイチから  
お店を作り上げオープンし  
ました。

東秩父村でお店を始めたの  
は、たまたま良い空き家の物  
件が東秩父村にあったことが  
きっかけでした。しかし、物  
件は見つかっても、当時は全  
然お金がなく、手作りでお店  
づくりを始めました。

とはいえ、私たちは素人な  
ので作業に苦戦していたとこ  
ろ、近所の方に声をかけてい  
ただき、気づけば内装や設備  
関係まで、たくさんの方のご  
協力のおかげでお店ができ上  
がっていきました。

特に木材加工では大変助け  
ていただき、近所の方にお店  
のほとんどの木材を製材して  
いただきました。

今思えば、皆さんのご協力  
が無かつたら、このお店は出  
来なかったかもしれません。

他の場所から来た私たちを  
温かく迎え、受け入れてくれ  
た地域の皆さんのおかげで、  
今日までお店を続けることが  
できています。皆さんには本  
当に感謝しています。

八間屋という店名には、  
「八」の字のような末広がりの  
空間になるように意味が込  
められています。

これからも皆さんからいた  
だいた恩を忘れずに、八間屋  
を末永く続くお店にしてい  
けるよう頑張ります！